

「社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染防止対策」の  
WEB配信について

地域福祉課  
令和2年4月8日

## 1 趣旨

新型コロナウイルスに感染すると重症化する危険性が高いとされている高齢者や基礎疾患を有する者が多く利用する社会福祉施設等において感染者が発生した場合、重大な事態となるおそれがある。

このため、当該施設に勤務する者が新型コロナウイルスの感染症対策について正しく理解し、実践していただくよう、本日から「社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染防止対策」をWEB配信する。

## 2 配信する内容

- ① 施設へのウイルスの侵入を防ぐ対策
- ② 施設内にいるかもしれない無症候性感染者からの感染拡大を防ぐ対策

## 3 配信の開始時期

令和2年4月8日（水）

## 4 WEB配信の周知先及び周知方法

特別養護老人ホーム等の高齢者関係施設、障害福祉サービス事業所等の障害児・者関係施設、保育所等の児童関係施設の各施設に対して、市町・施設関係団体と連携し、職員の視聴について要請する。

## 5 配信アドレス

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/trainingcontents.html>（県ホームページ）



## 6 配信するコンテンツの作成方法

NPO法人ひろしま感染症ネットワークに委託して作成

講師：広島大学病院 感染症科教授 大毛 宏喜（おおげ ひろき）先生

## 7 今後の対応

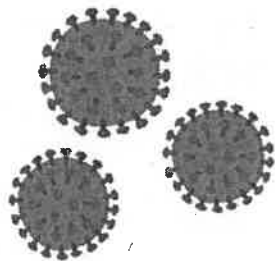
県内の社会福祉施設へ職員に対し、WEB配信の視聴を働きかけるよう要請するとともに、各施設関係団体を通じてWEB配信に対するアンケートを実施し、視聴者から新型コロナウイルスに関する疑問、困り事等を収集し、それをもとに配信内容を充実させていく。

### 大毛先生からのコメント

社会福祉施設等において、職員は新型コロナウイルス感染症の感染源となる場合があります。このため、多くの職員の方々にこのWEB配信を視聴していただき、一人ひとりが自覚と責任感を持って行動していただきますようお願いいたします。

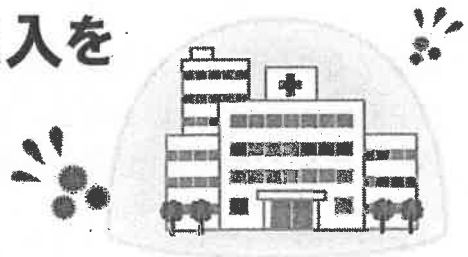


# 社会福祉施設等における 感染防止対策について



## 目 標

- ① 施設へのウイルスの侵入を防ぐ

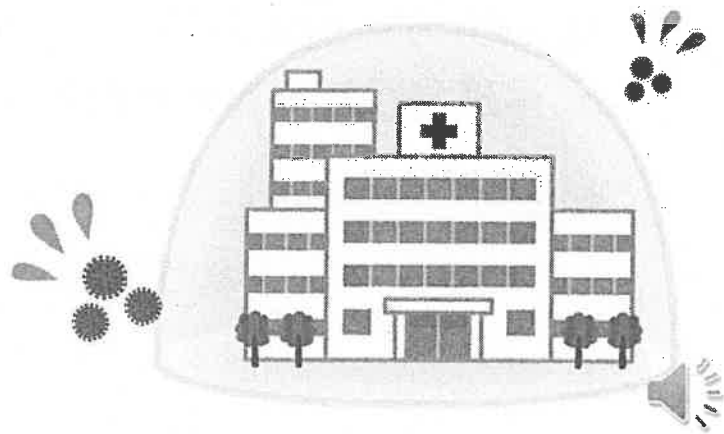


- ② 施設内にいるかもしれない  
無症候性感染者からの感染を  
拡大させない



## ① 施設へのウイルスの侵入を防ぐ

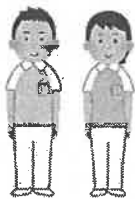
---



### ウイルスの侵入ルートは？

---

職員



面会家族



出入り業者等の関係者



外出・外泊から帰ってきた入所者



## 職員がウイルスを持ち込まないために

### 施設ごとに検討すべきルール

施設外(私生活)での行動制限

- 旅行や宴会など



出勤時のチェック項目

- 体調, 体温, 同居家族の体調



欠勤すべき条件

- 「発熱」, 「咳」, 「味覚・嗅覚異常」など



## 汚染度の違いを明確にする

- 施設内を①汚染エリア, ②グレーエリア,  
③クリーンエリアに区分する

### ①汚染エリア

外部から入ってきた  
人がいるスペース  
(エントランス, 入り口  
の窓口の事務室など)



### ②グレーエリア

体温チェック, 手指衛  
生などを行うスペース,  
更衣室, 会議室,  
食事をとる休憩室





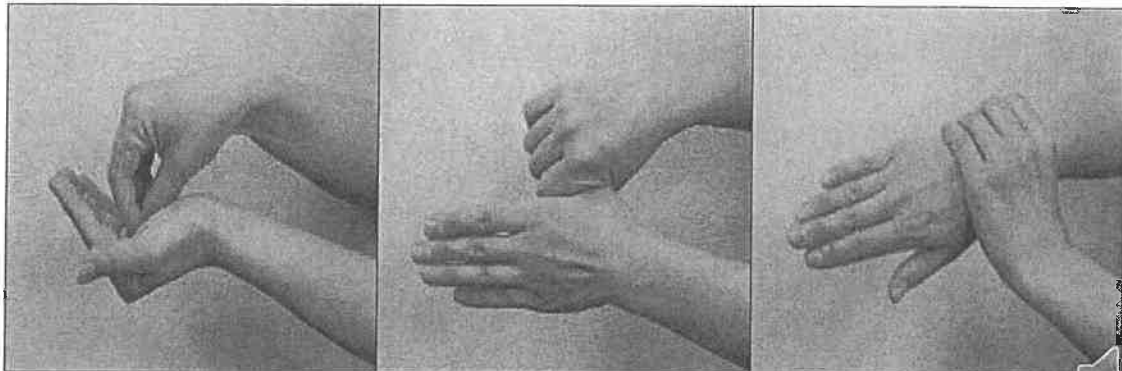
### ③クリーンエリア

入所者のいる  
スペース



## 手指衛生の方法

- アルコール製剤が最も有効 
- アルコール製剤が入手困難なら流水と石鹸 
  - 30秒以上時間をかけて行う
- 指先, 親指, 手首に注意



## やむを得ない面会では...

- 面会者は感染対策の知識がないという前提で対応



## 面会のルール

### □ 職員が終始付き添って指導・監督する

- 体温測定



- 問診票(署名必要): 過去2週間の体調確認、流行地域への立ち入り、風邪症状を呈する人との接触歴など



- 持参品は預かる。食品の持ち込み禁止



- 手指衛生(クリーンエリアに入る時、入室時、トイレ後など)



- マスク(着用法を含め)、長袖ガウン、手袋



- 食事介助、体位変換、移動介助など濃厚な接触は避ける



## 外出・外泊について

### □ 原則禁止



- やむを得ない場合は施設外での3密(密閉、密集、密接)を避け、マスク着用と手洗い励行の指導を行う

①換気の悪い  
密閉空間

②多数が集まる  
密集場所

③間近で会話や  
発声をする  
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。  
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

厚労省HPより

## ② 施設内の無症候性感染者からの感染を拡大させない

---



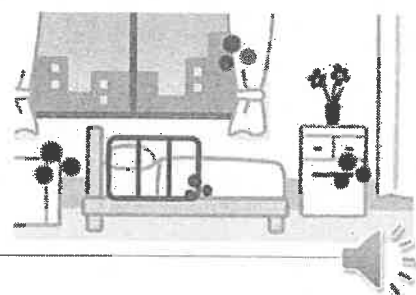
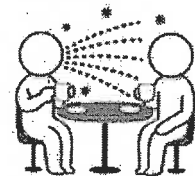
### 考え方



どれだけ防御を固めても、無症状で感染性を有する人はクリーンエリアに入りうる

クリーンエリアにいる職員や入所者の誰かが感染している前提で対応する

一旦侵入したウイルスを施設内で拡げない事が目標



## 無症候の感染者からのウイルス伝播

### ① 口からの飛沫

- マスクで予防可能

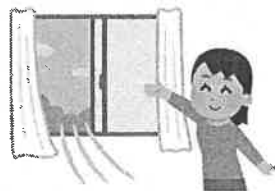


- グレーエリア(職員休憩室・更衣室など)での職員間の接触(会話や食事)に注意

- 食事時間をずらしてマスク無しの職員が複数休憩室にいるのを防ぐ



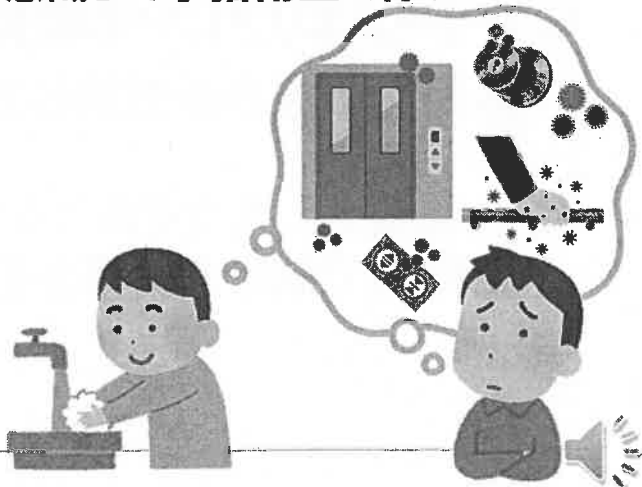
- 換気を良くする



## 無症候の感染者からのウイルス伝播

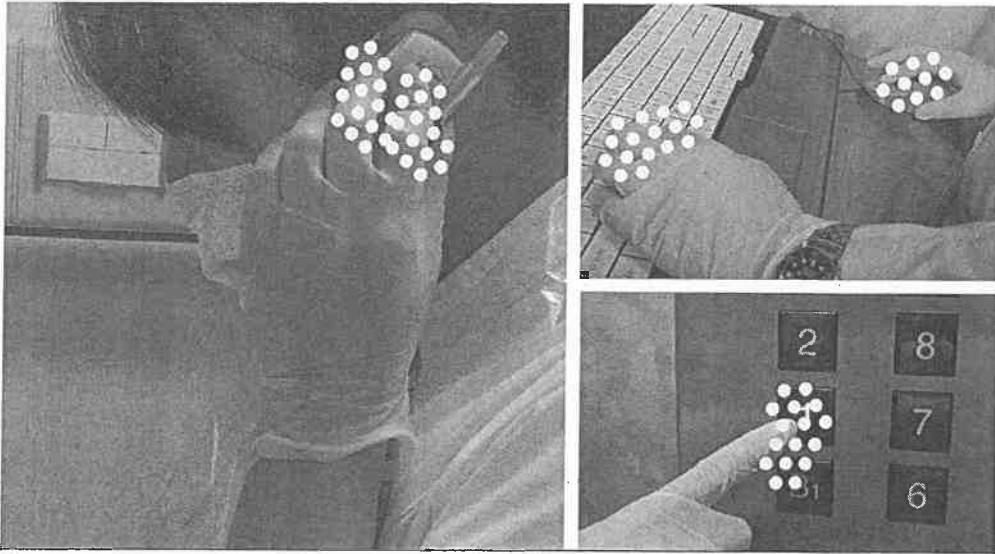
### ② 高頻度接触面から

- 共有物品を含め多くの人が触る場所は汚染していることを意識して手指衛生を行う





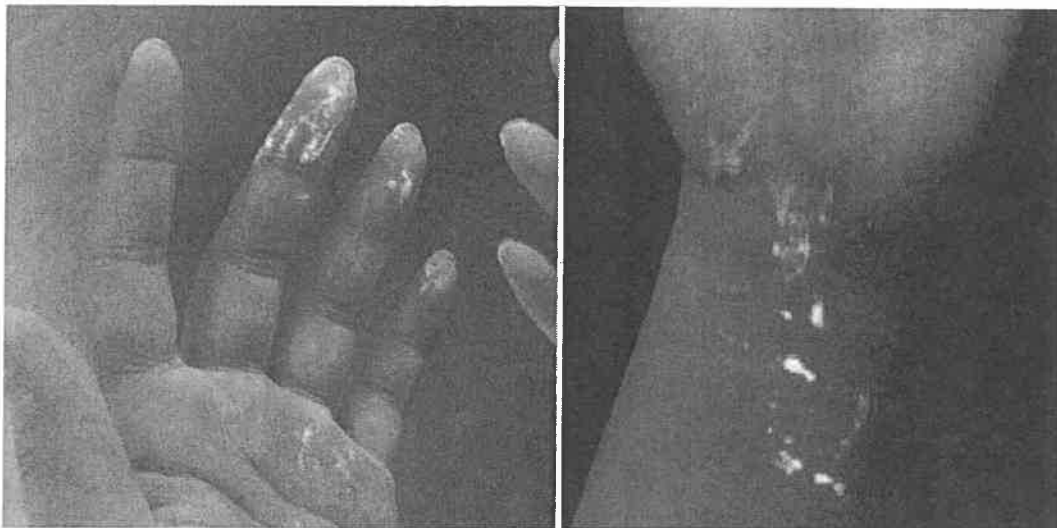
## 高頻度接触面は汚染している



汚染している所を触ったらその都度手指衛生



手袋を過信しない



手袋を外す際に汚染するので手指衛生を行う



## 会議・ミーティングは極力行わない

### □ 行う場合の注意点

- 短時間で実施
- 換気の悪い部屋は避ける
- 少人数で距離を保つ
- 飲食禁止
- マスクを着用する
- グレーエリアで行う
  - 会議資料等はクリーンエリアに持ち込まない
  - 手指衛生でリセットしてからクリーンエリアに戻る



## 職員の行動は様々

### □ 感染対策の行動は同一ではない

### □ 定期的に確認しあう事が重要

- マスクの正しい着用法
  - 鼻は出していないか、
  - 食事中にどこに置いているか、
  - マスク表面や口・鼻を触っていないか



## 職員の行動は様々

---

### 定期的に確認しあう事が重要

- 手指衛生のタイミング



- 体調管理

日常生活での感染対策に留意しているか

心身の疲れはたまっていないか

宴会を避けるなど自制しているか



## 感染対策の基本

---

### ウイルスは口や鼻から出ている

- マスクで飛散を防ぐ



- 顔に付着したウイルスを手につけない



## 感染対策の基本

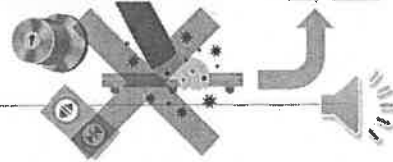
---

□ 手についたウイルスを入所者や施設内環境に付けない

■ 入所者に接触する前の手指衛生

■ 手袋の有効活用

■ 高頻度接触面を触らず、触った後は手指衛生



## まとめ

---

□ 入所者にウイルスを移すのは主に職員であることを自覚して行動する



□ 感染しない事に努める

■ 3密を避け、手洗いを励行する

■ 規則的な生活・睡眠・食事に心がける



## 最後に

---

- 自分が感染していてもおかしくないと考えて行動する



